

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立東小学校

【取組内容①】算数の授業で単元を通して振り返りを蓄積

【実践の目的】

Googleスプレッドシートで作成したシートに、毎授業の最後に振り返りを打ち込むことで、授業での学びを単元を通して振り返られるようにする。

【実践内容】

- Googleスプレッドシートで振り返りシートを作成する。
- クラスルームでシートのURLを周知する。
- 毎授業の最後に全児童が1枚のシートに打ち込む。
- 次の授業の導入時に全体で前時の振り返りを共有しながら本時のめあてをたてる。

【使用したアプリ】

Googleスプレッドシート
Googleクラスルーム

図形の角を調べよう ☆ 共有

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
7			二等辺三角形の腰の大きさはすべて180°を調べたいです。頂角三角形の角の大きさがきになるので調べてください	3つの角がある三角形の角の大きさの和は180°。になつた複雑な三角形でもできていくと思った		四角形は対角線などをひき三角形を作ったり4つの角の大きさの和を求められたい。五角形、六角形の角の大きさも四角形に比べて求められる	五角形、六角形も三角形と四角形も四角形に分けて角の和を求められる		4つの角が一点にあつても4つの角がある。ほかの四角形でも4つの角がある。としまつめることができる。三角形などもやってみよう
8			二等辺三角形と角の和が180°だったけれど正三角形や直角三角形などではどうなるのか気になった。	三角形はすべて角の和が180°になることがわかった。四角形などどうなるのか調べてみたい。五角形や六角形などではどうなるのか気になった。		対角線で分けたら4つに分けられると四角形の角の大きさの和が求められる。五角形や六角形など角の大きさの和の求め方を調べてみたい。忘れないように自主学習で復習したい。	五角形も六角形も三角形と四角形に分けて角の和を求めるといい。		4つの角は一つの点に集まると360°だから四角形も数値を求められることがわかった。
9			二等辺三角形の(例)角A、角Bの大きさは、等しい。すべての角の和は、180°。	三角形の3つの角の和は、必ず180°になるとわかった。二等辺三角形の場合、等しい2つの角のどちらかでも分かれば、3つの角と、その和が、分かった。思った。		四角形の角の大きさの和は、三角形をもとにすれば良いとわかった。四角形の角の大きさの和は360°だということもわかった。これをもとにすれば、五角形や六角形も求められる。	五角形や、六角形などの多角形は、今までのように、三角形や、四角形を元にした場合は良いと、分かった。多角形には、いくつかの三角形がはいると、分かった。		合同な四角形は、大きさのちがう角どうしを集めれば、しまつめられると、分かった。
10			二等辺三角形は角Aと角Bの角度は同じなの。二等辺三角形は2つの辺の長さと同じでそれと同じ角度になると思い出した。	三角形の3つの角の大きさの和が、180°だと知り、辺の長さが関係すると思えます。どうしてかというところ、辺が1つは絶対に長いやうな三角形は、短いのがある。2つ長いと短い辺がある。		四角形は、4つの角の大きさの和が360°だとわかった。五角形は、5つの角の大きさの和が540°だとわかった。六角形は、6つの角の大きさの和が720°だとわかった。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。	五角形、六角形は、計算で求められる。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。五角形は、五角形の角の大きさの和が540°だとわかった。		4角形4つの角の大きさの和は、360°だから、4つの角が1つの点に集まればしまつめられると知り、五角形では、540°の五角形や、720°の六角形は、どうやってしまつめられるか知り
11			二等辺三角形以外の三角形も180°になるのか気になる。四角形ではどうなるか調べて	どんな三角形でも必ず180°になることがわかった。複雑な三角形でもなるのか調べて		四角形は四角形に分けたら角と角同士をくっつけて求めるという考えや考え方で求められた。角が揃える角の大きさもほとんど大きくなるんだと思う	図形は角が1つずつ増えることと図形の大きさは180°ずつ大きくなることとわかった。		どんな四角形でも必ず数値を求められることがわかった。どんな三角形でも数値を求められるが調べて
12			この180°になったところと同じ高さを加えようという気になった	すべての三角形が180°なら四角形の場合は360°になるのかをコソコソと確かめてみたい		学習したことを生かせば、しっかり図形は正しく求められる。計算にも、図形にも元にするものがあるということがわかった。	何でも四角形や三角形ももともとの、三角形、四角形をしっかりとマスターして台形とかもスイスイ解けるようにしたい。計算ミスをしたくない		やっぱり大切なのは360°ということ、180°ということだとわかった。しまつめるときは、360°、180°ということをしつかり覚えておくとうまくいくことがわかった。

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- 今までの学習を振り返りながら、単元を意識しての学習ができた。
- 友達がどのような振り返りを書いているのか、児童同士ですぐに共有できた。

★ICT活用の仕方工夫が必要であった点

- 打ち込むのが苦手な児童は、時間がかかってしまった。
- 友達のセルをいじってしまい間違えて消してしまったことがあった。